

エクセル講座①

1: 参照方式について

2: 関数について

2-1 数式

2-2 平均と合計

2-3 様々な関数の組み合わせ

3: 総合演習

3-1 アンケート集計

3-2 売上分析

1. 参照方式について

相対参照

	A	B	C
1	100	=A1	
2	200	=A2	
3			

↓

	A	B	C
1	100	100	
2	200	200	
3			

相対参照で、セル「B1」にある、セル「A1」を参照する数式をセル「B2」にコピーすると、参照先が「A2」に変化。

絶対参照

	A	B	C
1	100	=\$A\$1	
2	200	=\$A\$1	
3			

↓

	A	B	C
1	100	100	
2	200	100	
3			

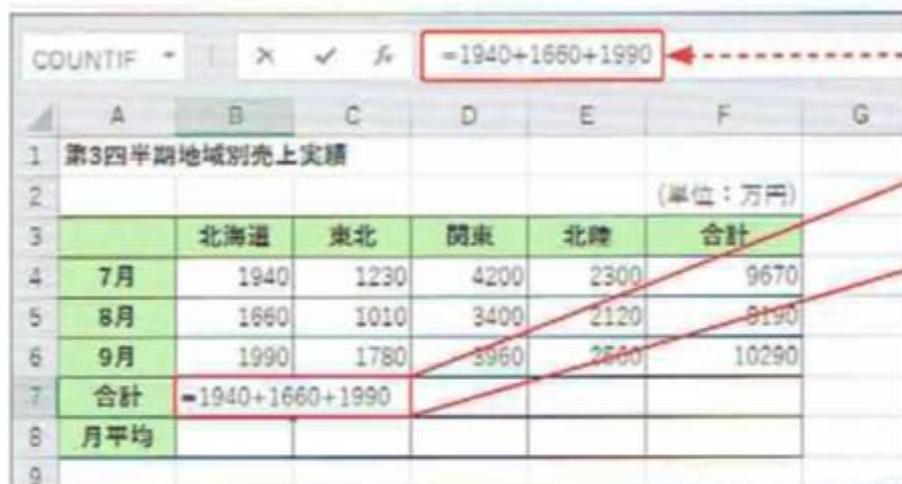
絶対参照でセル「A1」を参照する数式をセル「B2」にコピーしても参照先は「A1」のまま固定されます。

参照方式は「F4」で後から切り替えることもできます。

2:関数について

2-1 数式

数式の入力には必ず「=(半角文字)」を入力します。



The screenshot shows the Excel interface with the formula bar containing the text `=1940+1660+1990`. A red dashed arrow points from the text to the formula bar. Below the formula bar is a table with the following data:

	A	B	C	D	E	F	G	
1	第3四半期地域別売上実績							
2						(単位:万円)		
3		北海道	東北	関東	北陸	合計		
4	7月	1940	1230	4200	2300	9670		
5	8月	1660	1010	3400	2120	8190		
6	9月	1990	1780	3960	2560	10290		
7	合計	=1940+1660+1990						
8	月平均							
9								

直に入力する例

=1940+1660+1990
「+」は算術演算子

記号	処理	優先順位
%	パーセンテージ	1
^	べき乗	2
*, /	かけ算、割り算	3
+, -	足し算、引き算	4



The screenshot shows the Excel interface with the formula bar containing the text `=C4+C5+C6`. A red dashed arrow points from the text to the formula bar. Below the formula bar is the same table as in the previous screenshot, but with the formula `=C4+C5+C6` entered in cell F7:

	A	B	C	D	E	F	G	
1	第3四半期地域別売上実績							
2						(単位:万円)		
3		北海道	東北	関東	北陸	合計		
4	7月	1940	1230	4200	2300	9670		
5	8月	1660	1010	3400	2120	8190		
6	9月	1990	1780	3960	2560	10290		
7	合計	5590	=C4+C5+C6					
8	月平均							
9								

参照を利用して入力する例

=C4+C5+C6
C4やC5やC6は参照するセル番地

参考 算術演算子

記号	処理	優先順位
%	パーセンテージ	1
^	べき乗	2
*、/	かけ算、割り算	3
+、-	足し算、引き算	4

2-2 平均と合計の関数

	A	B	C	D	E	F
1	第3四半期地域別売上実績					
2						(単位：万円)
3		北海道	東北	関東	北陸	合計
4	7月	1940	1230	4200	2300	9670
5	8月	1660	1010	3400	2120	8190
6	9月	1990	1780	3960	2560	10290
7	合計	5590	4020	11560	=SUM(E4,E5,E6)	
8	月平均					

合計を求める関数SUM
平均を求める関数AVERAGE

①複数選択
=SUM(E4,E5,E6)

②範囲を選択
=SUM(E4:E6)

2-3 数える関数と組み合わせ

	A	B	C
1			
2		選択科目	
3		地理	歴史
4	佐藤	100	
5	田中	80	
6	山田		30
7	森本		60
8	佐々木		90
9			
10	選択数		
11			
12	平均点		
13			
14	最高得点		
15			
16	最低得点		
17			

COUNT()関数を利用 ... 数値を数える
COUNTA()関数を利用 ... 空白以外の数

AVERAGE()関数を利用

MAX()関数を利用

MIN()関数を利用

演習：挑戦してみましよう。

	A	B	C
1			
2		選択科目	
3		地理	歴史
4	佐藤	100	
5	田中	80	
6	山田		30
7	森本		60
8	佐々木		90
9			
10	選択数	2	3
11			
12	平均点	90	60
13			
14	最高得点	100	90
15			
16	最低得点	80	30

3: 総合演習 (関数を考えて完成させてみましょう。)

3-1 アンケート集計

	A	B	C	D	E	F
1		アンケート集計				
2						
3		記入表 (複数回答)				
4						
5		会員名	解答1	解答2	解答3	解答4
6		A	○			
7		B		○	○	
8		C				○
9		D		○		○
10		E	○	○		○
11						
12						
13		集計結果				
14		解答1	解答2	解答3	解答4	
15		2	3	1	3	
..						

3-2 売上分析(余裕のある方は挑戦してみてください)

	A	B	C	D	E	F	G
1		売上分析		商品:ABCアイスクリーム			
2				(単位100万円)			
3		北海道	東北	関東	北陸		関東 月別 売上 順位
4	1月	30	50	120	12		12
5	2月	40	78	140	35		10
6	3月	50	115	230	39		9
7	4月	120	245	290	55		8
8	5月	170	300	340	65		6
9	6月	250	430	700	100		5
10	7月	500	600	960	145		2
11	8月	300	942	1200	166		1
12	9月	130	800	840	130		3
13	10月	90	405	730	110		4
14	11月	65	200	305	28		7
15	12月	50	86	130	28		11
16							

ヒント！

3-1 数える関数は、数値ではないので、空白以外の文字列を数える、COUNTA()関数を用いる

3-2 RANK関数を用います。

RANK(数値,参照,並べる順序)

更に、参照する場所は絶対参照で行う必要があります。

例) =RANK(D4,\$D\$4:\$D\$15,0)

意味順位を付けて(D4の欄,絶対参照のD4からD15の間,小さい順に並べて順位を決める)

ヒント

演習: 地理の選択数を数える 「 =COUNT(B4:B8) 」

演習: 平均点を計算する 「 =AVERAGE(B4:B8) 」

演習: 最高得点を計算する 「 =MAX(B4:B8) 」

演習: 最低得点を計算する 「 =MIN(B4:B8) 」

総合演習: 解答1の選択数を数える 「 =COUNTA(C6:C10) 」

総合演習: 関東月別売上順位の計算 「 =RANK(D4,\$D\$4:\$D\$15,0) 」